

平成26年度事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

公益財団法人亀岡市環境事業公社

1. 事業計画の概要

亀岡市における一般廃棄物の排出抑制、分別排出の徹底及び資源の有効な再生利用を推進するとともに適正な処理を通じて、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図りながら市民の健康で快適な生活を確保するため、下記の事業を実施します。

市民や関係団体との連携・協働を推進し、これまで取り組んできた公益目的事業を一層充実させ、きめ細やかな市民サービスの提供と環境施策の浸透に向けた積極的な取り組みを行い、人と環境にやさしい持続可能な循環型社会の形成を目指します。

本年度は、ごみ分別品目の拡大やし尿処理施設の工程変更が予定されており、これらの変化に呼応し、より効率的に、円滑かつ確実に事業執行ができるよう努めます。

2. 個別の事業計画

循環型社会推進事業（公益目的事業1）

（1）家庭ごみの分別排出、資源の再生利用等を促進する業務

ア．家庭ごみ収集運搬及び適正排出促進業務

地域社会との密接な繋がりを通じて、市民の理解と協力を得ながら、市民とともに環境意識の向上を図り、人と環境にやさしい街づくりを推進します。

市内の家庭から排出されるごみ（可燃、埋立、粗大、資源（カン類、ビン類、使用済み乾電池、スプレー缶、プラスチック製容器包装、ペットボトル）の収集運搬及び可燃性破砕物の運搬を行い、併せて、分別排出の徹底や適正排出を促進するよう啓発指導を行います。また、災害時には亀岡市と緊密に連携をとり、機動的な災害復旧に努めます。

ごみの種類		事業予定量	対象地域
可燃ごみ		14,469 t	市内全域
埋立ごみ		1,685 t	
粗大ごみ		177 t	
資源ごみ		1,606 t	
内	カン類	228 t	
	ビン類	865 t	
	使用済み乾電池	19 t	
	スプレー缶	86 t	
訳	プラスチック製容器包装	375 t	
	ペットボトル	33 t	

イ. 普及啓発事業

環境に対する意識向上のため、イベントや街頭啓発、展示活動等を通じて、環境問題や3R活動など、環境に関連する情報を広く発信することにより、市民に理解と実践を求めます。

- ・環境啓発イベント（年1～2回）
- ・街頭啓発活動（年3～4回）
- ・啓発ポスターの車両掲出
- ・展示活動（桜塚クリーンセンター2階展示スペース、環境イベント会場等）
- ・ホームページでの情報発信

ウ. 環境学習事業

広く市民を対象として環境意識の向上に資する学習機会を設け、市民自らが環境にやさしいライフスタイルを実践できるよう働きかけます。

- ・環境セミナー（年1～2回）
- ・環境学習会（要請に応じて実施…受入型・派遣型、児童向け・一般向け）
ごみ収集の現状や3Rの大切さを学び、資源循環型社会の理解を深める。

エ. 不法投棄等監視パトロール

市民の日常生活における生活環境を守り、自然環境を保護するため、市内一円で不法投棄等監視パトロールを行います。

当法人の全車両をパトロール車として位置付け、不法投棄発見時に関係機関へ速やかに情報提供するとともに不法投棄防止の啓発活動を行い、環境にやさしい安全な街づくりを推進します。

6月の環境月間を不法投棄撲滅運動強化期間と定め、街頭啓発活動と併せて不法投棄の撲滅に向けたPRに努めます。

オ. サンプルング調査

ごみの減量化及び有効な資源の循環利用に向けた基礎データを得るため、埋立ごみの組成分析調査を行います。（年2回）

調査結果は、環境行政施策の基礎データとして亀岡市へ提供するとともに不適正排出や危険有害ごみの混入実態等を市民へ情報発信することにより、分別排出の徹底と収集作業の安全確保を図ります。

(2) 水環境の保全を推進する事業

ア. 普及啓発事業

亀岡市を象徴する清浄で豊富な水資源を将来にわたり保全育成するため、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止を推進します。

- ・環境啓発イベント（年1～2回）
- ・ポスティング活動（年1回）
- ・啓発ポスターの車両掲出
- ・展示活動（若宮工場玄関ロビー、環境イベント会場等）
- ・ホームページでの情報発信

イ. し尿処理業務

公共用水域の水質汚濁防止と水環境の保全の推進を目的として、亀岡市内で排出されたし尿及び浄化槽汚泥等を適正に処理します。

（好気性消化処理方式＋高度処理）

事業予定量（年間）	13,369kℓ
-----------	----------

ウ. し尿収集運搬業務

水環境の保全を推進するとともに亀岡市民の生活環境を清潔に保ち、公衆衛生の向上を図るため、市内の家庭や事業所から排出されるし尿を汲み取り、し尿処理施設へ運搬します。

公共下水道や農業集落排水等の普及により年々業務量は減少し、収集家庭も点在化するため作業効率は悪化していますが、市内均一のサービスが提供できるよう努めます。

事業予定量（年間）	3,857kℓ
-----------	---------

3. 職員配置

区分	庶務課	業務課	資源推進課	環境推進第1課	環境推進第2課	計
正職員	4	12	16	12	14	58
再雇用	0	0	0	1	1	2
嘱託	1	4	0	0	0	5
計	5	16	16	13	15	65

4. 車両配置

区分	台数	種別
し尿収集車	4台	バキューム車
ごみ収集車	25台	プレス車 15台 ダンプ車 8台 分別収集車 2台
事務公用車	3台	軽四乗用 2台 軽四貨物 1台
計	32台	